

2021年9月23日（木・祝）～9月26日（日） 六本木の街を舞台にしたアートの饗宴『六本木アートナイト2021』 「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！」 メインプログラム・アーティストは日本を代表する現代アーティスト 村上 隆！ 村上がキュレーションしたアーティスト達と「ドラえもん」に挑む!!

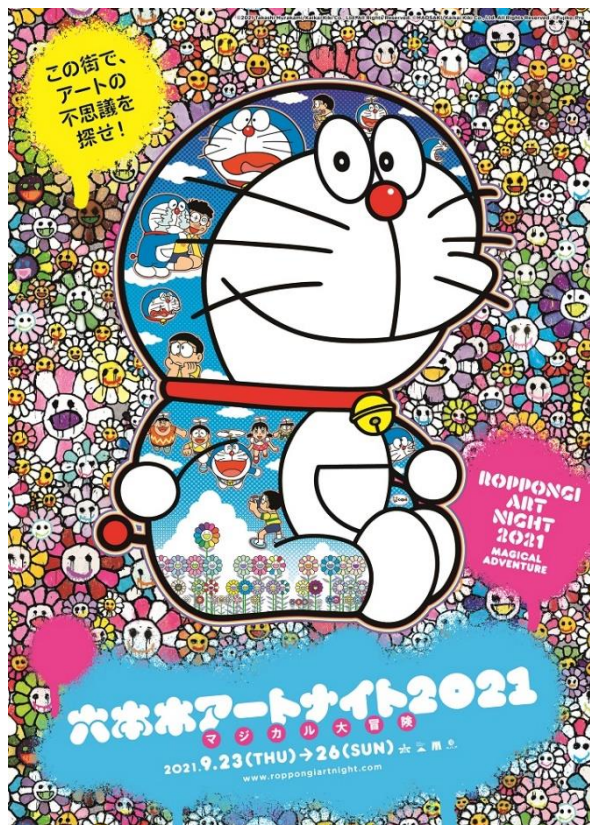
「六本木アートナイト」は、六本木の街を舞台に繰り広げられるアートの饗宴。美術館をはじめとする文化施設、大型複合施設、商店街が集積する六本木の街全域にわたり、インスタレーション作品、音楽やパフォーマンス、トークなどの多様なコンテンツを展開、社会に於けるアートの更なる可能性を発信しています。2009年より継続的に開催し、都市型アートフェスティバルとして定着してまいりました。

この度、「六本木アートナイト2021」は、昨年開催取り止めとなった「六本木アートナイト2020」や、「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト」のプログラム内容を引き継ぎながら、デジタルも取り入れることで、さらに充実したコンテンツで開催することが決定いたしました。

「六本木アートナイト2021」では、新型コロナウイルス感染症対策として、少しでも密を避け、作品や六本木の街を巡り、楽しんでいただくために、**2021年9月23日（木・祝）から26日（日）の開催として会期を長くするとともに、リアルとデジタルとのハイブリッドでの開催を予定しています。**

今年2月には、六本木というリアルな「街」をベースとしてきた六本木アートナイトの新たな試みとして、また、アートの灯を絶やさないために、オンラインのみで「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト」を開催し、新コンテンツとして「六本木アートナイト・デジタル（RAN TV等を含む）」が始動しました。「六本木アートナイト2021」ではこの取り組みを発展させていきます。

街がアートで彩られる非日常な空気感、来場者とアートとの距離を縮め、心に豊かな時間を運んでくれるでしょう。また、オンラインではいつでもどこでも楽しめる、オンラインならではのアートの楽しみをお届けします。



メインプログラム・アーティストは世界を舞台に活躍し、日本を代表する現代アーティストである村上 隆。

村上が選んだモチーフは「ドラえもん」。

村上曰く「20世紀、日本が生んだ最大のポップアイコン」である「ドラえもん」を生み出したアーティスト藤子・F・不二雄と、アーティスト村上 隆のコラボレーションとして、近年数々の作品を生み出してきました。六本木アートナイトでは、過去最大級のバルーン作品を制作予定です。

また、今回の六本木アートナイトでは、自身がキュレーションしたアーティストも同様に「ドラえもん」に挑み新作を制作します。

六本木アートナイト2021 テーマ：

マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ！

一年に一度、六本木に、世界中からさまざまなアートが集まります。

スペシャルな「ドラえもん」を使った現代美術作品、街中に点在するインスタレーション作品、映像やパフォーマンスに加えて、デジタルで楽しめるアートナイト・デジタル（RAN TV）でも多くの映像作品、演劇、トーク・プログラムなどを発信します。

アートの魔法がかけられたこの街は、不思議が溢れるマジカルな世界に変わります。アートの不思議を探す冒険に出れば、驚きと感動を与えてくれる発見があるでしょう。

「ドラえもん」と一緒に、マジカル大冒険をお楽しみください。

©2021 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
©MADSAKI/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. ©Fujiko-Pro

今回のメインビジュアルは、メインプログラムを担当するアーティスト村上 隆のオリジナルビジュアルをベースに制作されました。村上が今回のモチーフに選んだ「ドラえもん」の周りに、村上の代表的なモチーフであるフラワーが配されています。

今回のビジュアルに使用されているフラワーは六本木アートナイトにも参加するアーティストMADSAKIとのコラボによるものです。ビジュアルの制作は日本を代表するデザイン・スタジオであるグルーヴィジョンズが担当しました。



Photo by Museum of Fine Arts, Boston
©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

東京って、めっちゃ外国から見てメガロポリスです。もう、リアルブレードランナー的のメガロポリス。美少女ロボット街ん中歩いてるでしょ的な。

で、その街のアートって何がリアル？って考えると、ズバリ漫画です。日本のアートは漫画。でも西欧式のアートもある。そのフュージョン、コラボで、何が1番良いかな、と問うと、僕的には「ドラえもん」がベストと思いました。なぜかと言うと、世界の地質学的に受ける温度差、微妙なズレが最高だと思ってます。

前にユニクロのコラボで僕のお花とドラえもんやったとき、アジアからのお客様から見ると、あー！やっぱ本場日本、わかってる！ドラえもん！かわいい、カッコいい！！アートとコラボ！となるが、西欧だと、村上が例のお花と日本式キャラのコラボってなんかわかんないけど良いね！みたいな。その温度差、理解の順番の差を梃子にして、現代における求められてるアートの形を具体的に提示するのが本企画です。

六本木アートナイト。今年はズバリ日本人と言うよりは、海外からのお客様目線で攻めますので、どーなんだろうな？

まあ、見てみてください。

村上 隆

六本木アートナイト2021 メインプログラム

過去最大級のバルーン作品を展示予定。六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウンと国立新美術館にバルーン作品を展示します。

- 展示期間：9月23日（木・祝）～26日（日）
- 展示場所：六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館



<六本木ヒルズアリーナ展示予定作品>

©Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.

<< プロフィール >>

村上 隆

1962年、東京生まれ。日本の伝統絵画と現代美術の源流をアニメ・マンガの視覚論を通して再構想する「スーパーフラット」論を提唱。Miss Ko²とDOB君など、おたく文化を反映したキャラクターを多く生み出し、キッチュ性の高い彫刻作品と西洋の透視図を対極とする超二次元的な絵画を発表している。村上のサブカルチャーを基盤とする文化論は、高級／低俗のヒエラルキーを解体するだけでなく、戦後日本人の心理を批評的に描き出し、グローバル化が進むアート・シーンに日本固有の言説を確立した。また、ルイ・ヴィトンとのコラボレーションや、ストリートカルチャーと現代陶芸に着目した活動を通して、現代美術の垣根を超えた観客層を世界中で獲得し続けている。2005年に自身が企画した「スーパーフラット三部作」の最終章「リトルボーイ展」ジャパン・ソサエティ（ニューヨーク）は、全米批評家連盟によるベストキュレーション賞に輝く。2007年から2009年には初の回顧展「©MURAKAMI」がロサンゼルス現代美術館を含む欧米4都市を巡回。2010年以降は、ヴェルサイユ宮殿、アルリワク展示場（ドーハ）、森美術館、ガラージ現代美術館（モスクワ）、大館（香港）など、世界中で個展を開催している。

村上 隆がキュレーションしたアーティストによる「ドラえもん」が大集合！

「六本木アートナイト2021」では、メインプログラムアーティストとしてだけではなく、村上 隆のプロデューサー的な側面も楽しめます。

村上がキュレーションしたアーティスト達も同様に「ドラえもん」に挑み新作を制作し、それを村上プロデュースのもと、六本木ヒルズアリーナ、東京ミッドタウン、国立新美術館の3か所に展示予定です。

村上をはじめ今を生きるアーティストが、伝説のアイコンとどのようにコラボレーションするのか、期待が高まります。



**Mr./
ミスター**

Photo by Claire Dorn
©Mr./Kaikai Kiki Co.,
Ltd. All Rights
Reserved.



タカノ綾

Photo by Claire Dorn
©Aya Takano/Kaikai
Kiki Co., Ltd. All Rights
Reserved.



**MADSAKI/
マサキ**

Photo by RK
(IG: @rkrkrk)
©MADSAKI/Kaikai
Kiki Co., Ltd. All
Rights Reserved.



**TENGAone
/テンガワン**

Photo by RK
(IG: @rkrkrk)
©TENGAone/Kaikai
Kiki Co., Ltd. All
Rights Reserved.



くらやえみ

Photo by IKKI
OGATA
©Emi Kuraya/Kaikai
Kiki Co., Ltd. All
Rights Reserved.



ob/オビ

Photo by Hiroki Tadano
©ob/Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.



大谷工作室

Photo by Claire Dorn
©Otani Workshop
/Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.



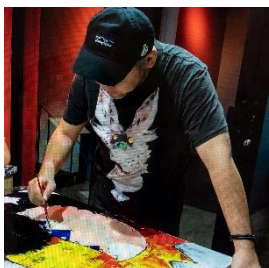
青島千穂

Photo by Kentaro
Matsumoto
©Chiho Aoshima/
Kaikai Kiki Co., Ltd.
All Rights Reserved.



Kasing Lung

© Kasing Lung. All
rights reserved.



左) T9G

©T9G



右) ナカザワショーコ

©Shoko Nakazawa



村田森

Photo by Fusako
Murata
©Shin Murata/Kaikai
Kiki Co., Ltd. All
Rights Reserved.



細川雄太

©Yuta Hosokawa

開催についての詳細や、参加アーティスト情報などについては、今後随時発表予定です。
最新情報は順次、公式WEBサイトや公式SNSにて発表してまいりますので、是非ご注目ください。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、「六本木アートナイト 2020」の開催が中止されて1年が経過しました。2020年度中の再開を目指し、今年2月には「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト」として可能な範囲での開催を計画しましたが、緊急事態宣言の発令により、オンラインのみでの開催となりました。この間、「六本木アートナイト」だけでなく、アート・イベントを含む様々な社会活動のあり方は大きく変化しました。「六本木アートナイト」は一晩に50～70万人もの観客を集めていましたが、そうした人の集中はいまや避けなければなりません。また、昼夜を通してアートを楽しめるという「六本木アートナイト」の特徴も、夜間の外出自粛が要請され、飲食店も時短営業となっている間は、活かすことが難しいでしょう。また、作品に直接触れたり、体験したりする形の展示も避けたいと考えます。こうした状況に鑑み、「六本木アートナイト2021」は、下記のような考え方に基づいて実施します。

- ・開催日程を1晩2日から、3晩4日に拡大することで、人の集中を緩和する。
- ・一部の作品は2週間程度の先行展示をすることで、さらに鑑賞機会を分散する。
- ・オールナイトの展示を避け、安全安心に配慮した時間帯と場所で実施する。
- ・作品の非接触を徹底する。
- ・「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト」に際してローンチした「アートナイト・デジタル（RAN TV等を含む）」を継続・発展させる。



撮影：伊藤彰紀

2021年9月23日（木・祝）から9月26日（日）を会期とし、また9月11日（土）より、一部先行展示を始めます。「アートナイト・デジタル」プログラムについては、9月初旬を目処に、順次公開し、9月末まで継続します。2022年度以降の「六本木アートナイト」については、2009年から10年以上にわたってアートナイトが築いてきた幅広い観客とアートと街の関係を大切にしつつ、具体的な実施形態についてはコロナ禍の状況を注視しながら、あるべき姿を模索していきたいと考えます。

六本木アートナイト実行委員長
片岡 真実（森美術館 館長）

六本木アートナイト 2021 開催概要

■ 正式名称：六本木アートナイト2021

■ 六本木アートナイト開催趣旨：

「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、アートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。

※2011年は東日本大震災、2020年はコロナ禍により中止

■ 開催期間：2021（令和3）年9月23日（木・祝）～9月26日（日）

※9月11日（土）より、一部作品は先行展示予定

■ 開催場所：リアル＞六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

デジタル＞YouTube チャンネル『RAN TV』 <https://www.youtube.com/channel/UCFiRs1izR5RlpKlBcdqD43w>

■ 入場料／視聴料：無料（但し、一部のプログラム及び美術館企画は有料）

■ 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】

■ 助成：令和3年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業

■ 特別協力：藤子プロ

ウェブサイト：<https://www.roppongiartnight.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>

Twitter：https://twitter.com/r_artnight

Instagram：https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/

※実施内容等につきましては、新型コロナウイルスの感染状況や諸般の事情により、予告なく変更または中止する場合がございます。

変更が生じる場合はウェブサイトやSNS等で改めてお知らせいたします。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局（PR01.内）

担当：三上・小谷 TEL：03-5774-1420 / Email：RAN@one-o.com